

幹線道路橋梁改良計画



実施地域 ムトゥワラ、ミンゴヨ

1. プロジェクト要請の背景

タンザニアでは、1990年の大洪水によって、同国南部のムトゥワラ、ミンゴヨ、マサシを結ぶ地域が大きな被害を受けた。1991～1992年のタンザニア政府の調査によると、それら地域を結ぶ幹線道路において、15か所の橋梁が流失した。被害を受けた一部の橋梁には仮設の橋梁が設置されたが、一部はそのまま放置されており、社会経済活動に支障をきたしていた。このため、1995年、タンザニア政府は我が国に対して、幹線道路における橋梁改善のための無償資金協力を要請した。これを受けて、1996年8月より基本設計調査団が派遣され、その結果に基づき、洪水によって被害を受けた15か所の橋梁のうち、ムトゥワラ・ミンゴヨ区間の4つの橋梁に対して援助を行うことになり、1997年に無償資金協力「幹線道路橋梁改良計画」の交換公文が締結された。

d) ムトゥワラ州及びリンディ州の住民の生活水準の向上

2) プロジェクト目標

年間を通じて通行可能である良好かつ安定した道路による交通及び物流が確保される。

3) 成果

ムトゥワラ・ミンゴヨ区間に、1,180トン荷重のトラック及びバスが運行可能な幹線道路橋梁が整備される。

4) 投入

日本側

研修員受入 1名

E/N 供与限度額 18.4億円

タンザニア側

ローカルコスト 0.07億円

2. プロジェクトの概要

(1) 協力期間

1996年度～1998年度

(2) 協力形態

無償資金協力

(3) 相手側実施機関

公共事業省道路局

(4) 協力内容

1) 上位目標

- a) 南岸道路の安全かつ信頼性の向上
- b) 農産物輸送、教育、保健、水へのアクセスなど社会経済活動の改善
- c) 地域間の経済格差の是正

3. 調査団構成

JICA タンザニア事務所

(現地コンサルタント：Tanzania Industrial Studies and Consulting Organization に委託)

4. 調査団派遣期間（調査実施時期）

2000年11月19日～23日

2001年3月25日～29日

5. 評価結果

(1) 妥当性

1990年4月の洪水で被害を受けた橋梁の修復は、国家の社会経済発展の観点から、緊急かつ重要性の高いプロジェクトであった。ムトゥワラ・ミンゴヨ

区間にある4橋梁は、タンザニア南部への主要道路上にあり比較的交通量も多いうえ、破損も激しく地域住民に大きな影響を与えていたことから、本プロジェクトの対象として選ばれた。以上より、本プロジェクトの妥当性は高いと考える。

(2) 目標達成度

2000年6月時点では1996年8月時点に比し幹線道路の1日当たり利用台数が約5倍に増え、車両走行時間も60%削減された。また、橋梁は国際基準に合致した材料を使用することで、安全性及び耐久性を確保できるようになった。

(3) 効率性

建設機材や現地労働者などの資源の投入は、おおむね効率的に行われた。実際の施工についても、全体的にはスケジュールは前倒しで実施されたことが確認された。

(4) インパクト

ムトゥワラ州及びリンディ州の2地域で社会経済活動が改善され、零細企業家による活動も増加した。ムトゥワラ港からのカシューナッツの輸出が、1995年には4万3,674トンであったのが1999年には、10万4,991トンへと増加するなど、農産物輸送などの経済活動が活発化し、教育、保健、給水といった社会サービスも改善され、生活水準の向上もみられた。また、工事には現地の労働者が計624名が雇用された。

(5) 自立発展性

本プロジェクトでの訓練や、現場での経験を通して、地元の関係者に習得された技術や知識などが、今後の同分野のプロジェクトに生かされていくことが期待される。しかし、建設された橋梁の維持管理には、タンザニア政府より十分な予算が充てられておらず、保守が不十分である。また、重荷重車両の交通量の増加に伴い、従来に増して、定期的な点検と維持管理が重要となる。一方、タンザニア政府は、タンザニア道路公社を設立し、国内の幹線道路の整備と維持管理の強化を図ろうとしている。

6. 教訓・提言

(1) 他のプロジェクトへの教訓

本プロジェクトでは、タンザニア国側カウンターパート、政府との良好な協力関係が効率的な実施に



整備された幹線道路橋梁（ミキンダニ橋）

結びついたが、類似プロジェクトの実施においては、援助受入国の対応を十分にモニタリングし、カウンターパートを積極的にプロジェクトに参加させ、知識の共有やオーナーシップの醸成を図っていく必要がある。

(2) 提言

タンザニア政府は、道路や橋梁の維持管理の体制を強化していく必要がある。そのためにも公共事業省を通じてタンザニア道路公社へ必要な予算及び機材を準備するとともに、地域住民への啓蒙活動や交通標識の設置にも取り組んでいく必要がある。

洪水により破壊された15の橋梁のうち、本プロジェクトで改善に取り組んだ4橋梁周辺では、地域経済の活性化も含め、高い効果があった。